

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一 (コード番号:6264 東証マザーズ) 問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久 (TEL.0996-64-2900)

## 平成28年12月度月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり平成28年12月度の月次受注残高を開示いたします。

記

## 1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率	
半導体分野	320	66.6%	9.6%	222. 1%	
FPD分野	155	32. 2%	7. 2%	△33.6%	
その他分野	6	1.3%	△0.8%	△56. 1%	
合計	481	100.0%	8.7%	38.9%	

## 2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H28.1月	2月	3月	4月	5月	6月
半導体分野	100	91	117	137	181	167
FPD分野	217	199	176	184	173	140
その他分野	12	13	12	11	12	8
合計	330	304	306	334	367	316

区分	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月
半導体分野	194	223	276	266	292	320
FPD分野	126	117	104	119	144	155
その他分野	7	14	14	7	6	6
合計	328	355	395	393	443	481

## 3. 月次受注残高の概況

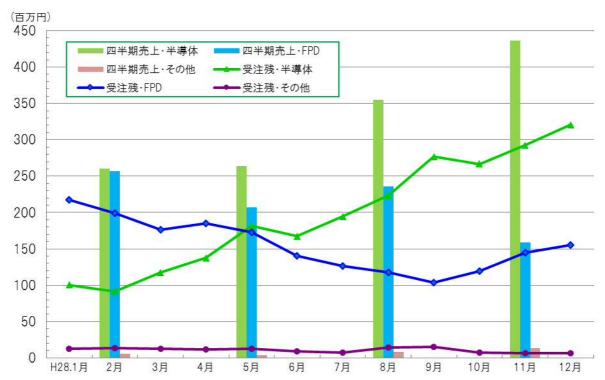
平成28年12月末の受注残高は、半導体分野においては、出荷検収が順調に進みながら、さらに受注が高水準で推移し、対前月増減率は9.6%増、対前年同月増減率では222.1%増の320百万円となりました。FPD分野においても、受注・出荷検収ともに好調に推移し、対前月増減率は7.2%増、対前年同月増減率では33.6%減の155百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはなく、対前年同月増減率では56.1%減の6百万円となりました。これらの結果、平成28年12月末の受注残高は、対前月増減率8.7%増、対前年同月増減率38.9%増の481百万円となりました。

今後の見通しは、半導体分野では、ロジックの微細化投資に加えて、3D NANDの投資拡大により、市場環境は今期中も好調を維持する見通しです。FPD分野では、有機EL向けと第10.5世代大型パネル向けの新規受注品種の需要が拡大する見通しです。

全般的には、市場環境の良好な推移を反映し引合いも増加しており、当社の試作能力および生産能力の拡大を課題と捉え、対策を講じてまいります。

以上

(参考:分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注1.上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
  - 2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。